## (別添様式)

埼玉県環境SDGs取組宣言企業(株式会社 椿本チエイン 埼玉工場) 取組報告

報告年月日 令和7年8月18日

1 企業等基本情報

_	· #// 1/1/K						
所	在 地	地 埼玉県飯能市新光20番地					
電	話番号	042-973-1131	URL	https://www.tsubakimoto.jp			
業	種	31 輸送用機械器具製造業	従業員数	919名			
事	業内容	自動車用部品の製造、搬送システム	の製造				

## 2 取組概要

NO	取組内容、成果、PRポイント	SDG s のゴール
1	【気候変動】 ・グループのCDP気候変動プログラムへの参画 国内・海外の全事業所を対象に展開(カバー率100%) ・Scope1.2.3排出量削減への対応に向け展開中 ・2023年6月にSBT認証を取得。新目標を設定しグループ全体で展開中 ・2023年4月、環境省より「エコファースト企業」に認定 ・2022年度よりグリーン電力を継続購入、2025年度より購入量を増量 (年間使用電力量の約1/2をカバー) ・PPA電力の検討を開始 ・災害に備えた行動マニュアルの整備、備蓄品の定期管理を継続実施	7 3104-88ABE 13 ABEBU. 13 ABEBU. 13 ABEBU. 14 ABEBU. 15 ABEBU. 16
2	【省エネ】 ・各設備の省エネ、生産性向上活動継続 ・省エネJIT (電気の無駄取り) 活動の取組継続 ・工程処理方法の改善PJを展開 ・太陽光による自家発電電力の利用 2024年度の発電実績:約220万kWh パ 神のメンテナンス清掃による発電効率の復元 ・工場照明のLED化を実施展開継続中 現在:全体の約80%を完了	7 1304-1404E 13 1880E 1-0-1-1
3	【廃棄物】【3Rの推進】 ・廃棄物適正処理の維持のため電子マニフェストを運用中 ・廃棄物再資源化拡大検討(一般ごみの再資源化処理の継続検討) 一部の一般ごみ(落葉や剪定ごみ)の構内処分化を継続 燃えるごみの分別強化により一般廃棄物の再資源化率約8%向上 ・ゼロエミッションの推進(再資源化率100%を目指す)	11 BARRINGE 12 TO ARE CONTROL OF THE
4	【環境配慮製品】 ・搬送システムのSDGs配慮型商品の検証、マトリックス化を継続実施・エコプロダクト(エコ商品)の開発:2024年度3商品を開発・メンテナンス分野の長寿命化、省エネ化提案を継続実施	3 10 00 12 7 100 100 100 100 100 100 100 100 100 1

※取組を5つまで記載

※「2 取組概要」の部分については、必要な項目が記載されていれば上記表形式によらずとも可(図表、写真も可。ただし、全体でA4縦1枚に収めること)